

令和元年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	510	コミュニティの輪を広げ、協働によるまちをつくる
施策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす
施策の目標	地域や多様なコミュニティの活動の拠点が、地域住民の協力のもとに運営され、協働の場や機会が充実し、交流が盛んになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					75.0%					80.0%
実績	71.5%									
指 標 名	コミュニティ施設の利用者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					415,000人					420,000人
実績	452,048人									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
・地域や多様なコミュニティの活動が、多くの区民により活発に展開されるためには、誰もが利用しやすい施設など活動を支える場づくりが欠かせない。また、子どもから高齢者まで多世代の区民や、様々な活動団体が交流できる仕組み(機会)を構築し、協働のネットワークを広げていくことが課題となっている。さらに、地域コミュニティ活動の活性化に資するよう、支援のあり方を時代に合った形で見直していく必要がある。コミュニティ施設については、地域のニーズを踏まえながら、既存の施設を再編・再配置していく必要がある。 「すみだまつり・こどもまつり」及び「成人を祝うつどい」は、実行委員会方式を採用し、協治ガバナンスの推進、地域力の振興に寄与している。	H28	900,386
	H29	880,103
	H30	827,356

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	区民アンケートによる「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合が71.5%あることと、コミュニティ施設の利用者数が増加しているため。 「すみだまつり・こどもまつり」については、各事務事業において代替性は低いため必要性はあるが、より効果的な運営を図る必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
・ハードとしての「場」であるコミュニティ施設は、地域のニーズを踏まえながら、既存の施設を再編・再配置していく必要がある一方、地域の交流機会を提供するソフト面としての「場」づくりも積極的に進めていく必要があることから、地域コミュニティの活性化のために、各種事業の見直し・支援のあり方などを時代に合った形で見直していく。 ・「すみだまつり・こどもまつり」については協賛金の獲得増加に努める必要がある。また、来年度のこどもまつりは、第50回の記念回となるので、魅力的な催しを検討する必要がある。「成人を祝うつどい」については、実行委員数増加に向けて、PRに努める。	
【今後の具体的な方針】	
・公共施設マネジメントを推進する中であっても、施設の使いやすさ・借りやすさ等の向上を図ることにより利用者増に繋がるとともに、多世代の区民や様々な活動団体が交流できる仕組み(機会)を構築し、協働のネットワークを広げていくというソフト面の「場」づくりを進め、「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の方が増えることはもとより、地域コミュニティのつながり・厚みづくりを進めていく。 ・「すみだまつり・こどもまつり」については新規企業の協賛募集をPRし、既存企業に対しても増額に努める。また、来年度の第50回こどもまつりの記念回でこどもたちが楽しめる魅力的な催しを検討する。成人を祝うつどいについては実行委員の募集方法を改善し、更なる人材の確保を図る。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	本所地域プラザ管理運営	57,925	3,937	61,862		58	現状維持
						60	平成30年度
2	八広地域プラザ管理運営	73,766	3,937	77,703		50	改善・見直し(効果測定)
						40.7	平成30年度
3	すみだまつり・こどもまつり 事業	23,500	17,718	41,218		30	現状維持
						30	平成30年度
4	成人を祝うつどい事業	4,801	9,843	14,644		61	改善・見直し
						61	平成30年度
5	町会・自治会会館建設等補助	7,928	2,953	10,881		19	改善・見直し(効果測定)
						19	平成30年度
6	みどりコミュニティセンター 管理運営	49,242	2,953	52,195		64.5	現状維持
						61	平成30年度
7	コミュニティ会館管理運営 委託	442,311	6,890	449,201		99	現状維持
						97.2	平成30年度
8	地域集会所管理運営	106,774	4,922	111,696		30	改善・見直し(効果測定)
						24	平成30年度
9	地区会館管理運営	19,656	2,953	22,609		17000	改善・見直し(効果測定)
						13090	平成30年度
10	墨田まちづくり公社コミュニ ティ補助	32,148	1,969	34,117		26000	改善・見直し(効果測定)
						21833	平成30年度
11	墨田まちづくり公社補助	6,733	1,969	8,702		25000	改善・見直し(効果測定)
						26361	平成30年度
12	旧健康ハウス維持管理	2,572	3,937	6,509		-	廃止
						-	平成30年度

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	本所地域プラザ管理運営					1
目 的	協治(ガバナンス)を担う区民等の地域における交流及びコミュニティ活動の拠点とする。					主管課・係(担当)
						地域活動推進課地域活動推進担当
						03-5608-6201
対 象 者	区民やさまざまな活動団体(本所地域プラザ利用者)					
根拠法令 関連計画	墨田区地域プラザ条例 墨田区地域プラザ条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者:一般社団法人地域プラザBIGSHIP	
事業内容	○施設概要 会議室、小会議室、学び合い体験室、調理室、多目的ホール、スタジオ、和室、イベントスペースA・B、レクリエーションコーナー、カフェ、トレーニング室 ○指定管理者による施設の運営 モニタリング等において、施設が適切に運営されているか確認を行い、指定管理者への助言・指導等を行う。					
経 過	開始年度	平成25年度		終了予定		
	平成25年10月1日 開館 平成25年10月1日～平成29年3月31日 指定管理者:一般社団法人地域プラザBIGSHIP 平成29年4月1日～令和元年3月31日 指定管理者:一般社団法人地域プラザBIGSHIP					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和元年度に指定管理者の選定手続きを行う。					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		58,300	55,000	51,929	58,183	58,183	58,183
決算額(令和元年度は見込み)		57,641	54,454	51,929	58,183	57,925	58,183
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		57,641	54,454	51,929	58,183	57,925	58,183
執行率(%)		98.9%	99.0%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	施設管理委託料	58,183	委託料	施設管理委託料	57,925	委託料	施設管理委託料	58,183

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		64	令和7年度	目標	50	55	58	62
				実績	57.2	60.6	60.0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	62	62	64	64	64	64
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者ニーズを数字として確認することができる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケートにおいて、「今後も利用する」と回答した人の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		90	令和7年度	目標	60	64	68	72
				実績	54	82.7	88.9	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	76	79	82	85	88	90
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	継続利用者を増やすことにより、利用者の交流・活動拠点としての利用を促す必要があるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	利用率が向上してきており、地域のコミュニティ活動等の場として根付いてきている。 今後も、効果的な施設運営を行うことにより、地域プラザが区民等の交流及びコミュニティ活動の拠点となるよう支援していく。

課題・問題点
・施設認知度の上昇及び事業等の充実により、施設利用率が上昇している。今後は、現在の稼働率を維持するため、さらなる利用者サービスの向上が求められる。 ・区民以外の利用者が増加しているため、区民の利用促進ニーズにあった事業展開や利用者が固定しないような事業の工夫が必要である。 ・地域住民からなる法人による管理・運営であることから、施設の運営にあたり、区が指導・支援していく必要がある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	八広地域プラザ管理運営					2
目 的	協治(ガバナンス)を担う区民等の地域における交流及びコミュニティ活動の拠点とする。					主管課・係(担当)
						地域活動推進課地域活動推進担当 03-5608-6705
対 象 者	区民やさまざまな活動団体(八広地域プラザ利用者)					
根拠法令 関連計画	墨田区地域プラザ条例 墨田区地域プラザ条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2 指定管理者:一般社団法人吾嬬の里	
事業内容	○施設概要 多目的ホール、楽屋1・2、音楽スタジオ、調理室、大会議室、中会議室、工作室、相談室1・2、和室コーナー、親子コーナー、地域交流室、自習・図書コーナー、屋上庭園、コミュニティゾーン、体育館、トレーニング室、多目的運動場(テニスコートA・Bの2面、またはフットサル1面) ○指定管理者による施設の運営 モニタリング等において、施設が適切に運営されているか確認を行い、指定管理者への助言・指導等を行う。					
経 過	開始年度	平成25年度		終了予定		
	平成25年4月1日 本館・屋内運動場開館 平成25年7月1日 多目的運動場開館 平成25年4月1日～平成28年3月31日 指定管理者:アズビル株式会社 平成28年4月1日～平成31年3月31日 指定管理者:一般社団法人吾嬬の里 平成31年4月1日～令和4年3月31日 指定管理者:一般社団法人吾嬬の里					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		89,551	88,366	79,237	81,486	75,454	73,434
決算額(令和元年度は見込み)		89,295	88,263	78,489	79,105	73,766	73,434
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		89,295	88,263	78,489	79,105	73,766	73,434
執行率(%)		99.7%	99.9%	99.1%	97.1%	97.8%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	施設管理委託料	68,454	委託料	施設管理委託料	66,766	委託料	施設管理委託料	66,434
使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	7,000	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	7,000	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	7,000
工事請負費	維持補修費	3,651						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	本館利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		64	令和7年度	目標	40	45	50	52
				実績	36.8	38.9	40.7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54	56	58	60	62	64
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用率が向上することで、地域の方々や地域団体に必要とされる施設であることを確認できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	モニタリング時の利用者アンケートにおける今後も利用すると回答した方の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		90	令和7年度	目標	85.5	86	86.5	87
				実績	87.4	99.2	100	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	87.5	88	88.5	89	89.5	90
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	継続利用者の増加は、地域プラザが地域活動の拠点として有効に活用されていることを確認できるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地域住民が主体となる「一般社団法人 吾嬬の里」が現指定管理者であることから、地域ニーズに基づいた管理・運用が行われている。地域プラザが区民等の交流およびコミュニティ活動の拠点となるよう継続的に支援するとともに、本館の稼働率向上に向けて、対策を弾力的に講じていく。

課題・問題点
・本館の利用率向上のため、地域ニーズにあった事業展開への工夫が必要である。 ・地域住民による管理運営となって4年目であるが、施設の運営にあたり、区が指導・支援していく必要がある。 ・体育館の老朽化が進んでいるため、修繕が必要である。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	すみだまつり・こどもまつり事業					3
目 的	すみだまつりは、区民と行政が手を携え、企画・運営することにより、「ふるさとすみだ」の意識の高揚とともに地域の振興を図ることを目的とする。 こどもまつりは、こどもたちの安全と健康を目標に、明るくはつらつとした成長を願うとともに、こどもたちの友情と連帯の輪を広げることを目的とする。					主管課・係（担当）
						文化芸術振興課 文化行事担当 03-5608-6181
対 象 者	すみだまつり・こどもまつりを訪れる人					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	職員3人、臨時職員2人	
事業内容	平成30年度 事業内容 【すみだまつり】 1 ステージ(体育館ステージ、野外ステージ 2会場・延べ93団体) 2 模擬店(21団体42コマ) 3 物産展(19市町村) 4 PRコーナー(行政28団体・民間34団体) 【こどもまつり】 1 こどもステージ(野外ステージにて合同実施) 2 こどもまつり行事(19団体)「こどもあそびコーナー」、「わんぱく広場」 3 こどもまつりパレード(7チーム約600人)					
経 過	開始年度	昭和51年		終了予定		
	「すみだまつり」は、昭和51年に「環境をよくする運動」の一環の「環境まつり」として実施。その後、各種団体が参画し「区民まつり」と名称を変えて行われた。昭和55年の第5回からは、地域の連帯と交歓の輪を広げるため「すみだまつり」と名称を変更し、「すみだまつり実行委員会」「墨田区」「墨田区文化観光協会(現：一般社団法人 墨田区観光協会)」の共催で実施している。 「こどもまつり」は、昭和46年に「交通安全こどもの日のつどい」の名称で開催。昭和52年の第7回に「こどもまつり」と名称変更。こどもたちの安全と健康で明るい成長を願うとともに、こどもたちの友情・連帯の輪を広げ、コミュニケーションを図ることを目的とする。平成13年度から、すみだまつりと同時開催となる。					
議会質問 の 状 況	すみだまつり・こどもまつりの開会式で、毎年鹿沼市などは、市の三役クラスの幹部職員が見えているが、顔見せ程度のご紹介しかない。こうした友好都市をご紹介するコーナーをつくることはできないか、という質問があった。(平成30年第3回定例会) →同年度のすみだまつり・こどもまつりにて、「友好都市紹介パネルコーナー」を設置した。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		21,545	24,545	23,545	23,536	23,536	23,532
決算額(令和元年度は見込み)		21,526	24,523	23,528	23,518	23,500	23,532
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		21,526	24,523	23,528	23,518	23,500	23,532
執行率(%)		99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.8%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費		0	報償費		0	報償費		5
旅費		18	旅費		0	旅費		27
負担金補助金及び交付金		23,500	負担金補助金及び交付金		23,500	負担金補助金及び交付金		23,500

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	年一回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	万人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		なし		目標	なし	30	30	30
				実績	29	28	30	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。より多くの方に「すみだまつり・こどもまつり」に参加してもらうことで、地域力が高まることが期待される。しかし、来場者数は天気に左右されることや右肩上がりに上がっていくことは考えにくいいため、一定の来場者数(30万人)を目標値とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。

課題・問題点
1 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。協賛金獲得増に努めているが、毎年協賛金が減少傾向にある。 2 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。 3 来年度の第50回こどもまつりは、記念回となるので、魅力的な催しを検討する必要がある。

補助金 名 称	すみだまつり実行委員会補助金										主管課・係（担当）	
根拠法令	すみだまつり実行委員会補助金交付要綱										文化芸術振興課 文化行事担当	
補助概要	1 各ステージ、2 模擬店、3 物産展、 4 P Rコーナー、5 こどもまつり行事、6 こどもまつりパレード										03-5608-6181	
目 的	補助金を交付することにより、区民エネルギーの集約された全区民的まつりを通じ、区と民間との協働による「ふるさと墨田」のまちづくり意識の高揚と地域の振興を図る。											
対 象	すみだまつり実行委員会											
基 準	区独自基準											
補助条件	補助金の算定基準 1 出演料及び謝礼金、2 会場設営費、3 使用料、4 会議費、5 印刷宣伝費、6 区長が必要と認める事業の経費、の一部を予算の範囲内において補助。											
経 過	開始年度		昭和58年		終了予定							
	開催条件や記念事業の実施等の状況を踏まえて、毎年、予算額の見直しを行っており、平成22年度には新墨田区総合体育館及び整備中の錦糸公園での実施となったことから、養生費やメンテナンス経費等が増額された。その後、錦糸公園整備の進捗等に合わせた経費の見直しを行い、平成24年度及び平成25年度は減額となった。平成27年度は、「すみだまつり」は第40回、「こどもまつり」は第45回の節目を迎えることから、記念事業の実施経費等として増額されている。											
議会質問 の状況												
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）											
	予算の推移 「単位：千円」											
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
	歳出当初予算額	24,500	23,500	21,500	21,500	24,500	23,500	23,500	23,500	23,500		
	歳出決算額	24,500	23,500	21,500	21,500	24,500	23,500	23,500	23,500			

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		21,545	24,545	23,545	23,536	23,536	23,532
決算額（令和元年度は見込み）		21,526	24,523	23,528	23,518	23,500	23,532
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		21,526	24,523	23,528	23,518	23,500	23,532
執行率（％）		99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.8%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年一回の開催				単 位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R 7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	来場者数				単 位	万人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		なし		目標	なし	30	30	30
				実績	29	28	30	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。より多くの方に「すみだまつり・こどもまつり」に参加してもらうことで、地域力が高まることが期待される。しかし、来場者数は天気に左右されることがや右肩上がりに上がっていくことは考えにくいので、一定の来場者数（30万人）を目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。						

課題・問題点	
1 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。協賛金獲得増に努めているが、毎年協賛金が減少傾向にある。 2 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。 3 来年度の第50回こどもまつりは、記念回となるので、魅力的な催しを検討する必要がある。	

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	成人を祝うつどい事業					4
目 的	新成人の今後の活躍を願い、社会の一員としての自覚と責任を促すとともに、これを祝い励ます。また、大人の仲間入りをともに喜び合える場を提供する。					主管課・係（担当）
						文化芸術振興課 文化行事担当 03-5608-6181
対 象 者	平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた墨田区民(外国人住民含む)					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	職員3人、臨時職員1人	
事業内容	“新成人自らの手による成人式を実施すること”を目的として「実行委員会」を立ち上げ、実行委員がテーマ策定、記念品選定、アトラクションの企画及び当日の運営までを行っている。 1 会 場 すみだトリフォニーホール 大ホール(墨田区錦糸一丁目2番3号) 2 記念品 墨田区地場産業製品 3 当日プログラム (1)事前アトラクション (2)開会のことば・励ましのことば・お祝いのことば (3)メインアトラクション (4)記念コンサート (5)閉会のことば・合唱					
経 過	開始年度	昭和31年		終了予定		
	昭和24年 成人の日制定 昭和31年 墨田区において、第1回「成人はたちのつどい」開催 平成10年頃から新成人による歓談会開催 平成13年度から新成人の実行委員による企画・運営する実行委員会方式を採用					
議会質問 の 状 況	1 私立中学校へ進学した人たちは、式典に参加しにくい状況ではないか。 →区公式HPや、区SNSなどで、私立中学校卒業者も積極的に参加を促す対応を行う。 2 成人年齢引き下げの対応について、墨田区としての考えを早い段階で示してほしい。 →2019年度中には方向性を検討し、周知を行う。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		4,731	4,736	4,736	6,164	4,979	5,211
決算額（令和元年度は見込み）		4,683	4,529	4,537	5,914	4,801	5,211
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,683	4,529	4,537	5,914	4,801	5,211
執行率（％）		99.0%	95.6%	95.8%	95.9%	96.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費		6	旅費		0	旅費		10
需用費		2,403	需用費		1,996	需用費		2,126
役務費		146	役務費		127	役務費		137
委託料		2,685	委託料		2,030	委託料		2,246
使用料及び賃借料		649	使用料及び賃借料		650	使用料及び賃借料		692

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	式典参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1200	37	目標	1200	1200	1200	1200
				実績	1171	1174	1297	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1200	1200	1200	1200	1200	1200
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	式典参加人数に応じ 式典が新成人にとって共感できる内容であったかどうかを確認できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	式典参加率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		65	37	目標	60	61	61	62
				実績	56	55	61	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	62	63	63	64	64	65
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	式典参加率が、新成人としての自覚を持っているかの指標となるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	本事業の成否は実行委員の力量によるところも大きいので、実行委員の人材確保に努め、より魅力的な事業としていく。

課題・問題点
1 成人を祝うつどい実行委員を毎年安定的に確保するのが難しい。 2 式典参加者を増加させるなど事業の充実を図るためには、相応の経費が必要となる。 3 成人年齢引き下げによる式典の対応。国の動向に着目し、他の市区町村と情報共有を行っていく必要がある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	町会・自治会会館建設等補助					5
目 的	町会・自治会活動の拠点となる施設を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。					主管課・係(担当)
						地域活動推進課地域活動推進担当
						03-5608-3661
対 象 者	町会・自治会(全170団体)					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱 墨田区町会・自治会会館施設整備補助金交付要綱					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	町会・自治会が設置する町会・自治会会館の建設等(新築、増築、改築、修繕、模様替え、建物・土地の購入、耐震診断費用、土地・建物の借地権設定に係る初期費用など)に要する経費の一部を補助金として交付している。					
経 過	開始年度	昭和57年度		終了予定		
	【建設等補助】 昭和57年4月 事業開始 平成15年1月 不燃化加算を廃止 平成17年10月 土地等価交換による会館取得の場合も対象に追加 平成21年4月 用地取得費も対象に追加 平成28年4月 耐震診断費用、借地権利金初期費用も対象に追加 【施設整備補助】 平成4年7月 事業開始 平成11年7月 冷暖房機の購入費も対象に追加 平成29年3月 高齢者及び障害者等の利便を図る範囲内での備品の購入費も対象に追加					
議会質問 の 状 況	・町会・自治会会館建設等補助金について、当区の補助金額は他区に比べて低い。なるべく早く上限を上げて欲しい。(31年予特)					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		32,000	25,000	31,952	32,000	30,460	32,000
決算額(令和元年度は見込み)		10,038	9,198	19,271	10,785	7,928	32,000
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		10,038	9,198	19,271	10,785	7,928	32,000
執行率(%)		31.4%	36.8%	60.3%	33.7%	26.0%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	建設等・施設整備補助金	10,785	負担金補助及び交付金	建設等・施設整備補助金	7,928	負担金補助及び交付金	建設等・施設整備補助金	32,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助可能件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		19	令和7年度	目標	19	19	19	19
				実績	19	19	19	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	19	19	19	19	19
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	補助件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		19	令和7年度	目標	19	19	19	19
				実績	13	12	9	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	19	19	19	19	19
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。

課題・問題点
多くの町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、中には早急な修繕が必要となるケースがある。その一方、会館の建設等には莫大な金額がかかり、本補助金を使用しても町会・自治会の負担は総費用の50%以上となることもある。町会・自治会によっては会館に対する基金を設けているところもあるが、予期せぬ事態が生じて資金がないためにすぐに対応できない場合もあるため、こういったケースへの対応方法についても検討していく必要がある。

補 助 金 名 称	町会・自治会会館建設等補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱			地域活動推進課地域活動推進担当	
補助概要	町会・自治会が設置する町会・自治会会館の建設等（新築、増築、改築、修繕、模様替え、建物・土地の購入）に要する経費の一部を補助金として交付している。			03-5608-3661	
目 的	町会・自治会活動の拠点となる施設を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。				
対 象	町会・自治会（全１７０団体）				
基 準	区独自基準				
補助条件	補助金額：費用の2分の1、上限500万円（交付金額については、5年間は申請不可） 交付対象会館 （１） 延べ面積（増築の場合は増築後の延べ面積）が原則として５０平方メートル以上であること。 （２） 町会等において、自主的に管理運営されるものであること。 （３） 維持管理等に要する経費は、町会等で負担するものであること。 （４） 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。 等				
経 過	開始年度	昭和57年度	終了予定		
	昭和57年4月	事業開始			
	平成15年1月	不燃化加算を廃止			
	平成17年10月	土地等価交換による会館取得の場合も対象に追加			
	平成21年4月	用地取得費も対象に追加			
	平成28年4月	耐震診断費用、借地権利金初期費用も対象に追加			
議会質問 の状況					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度
予算額（事業費）		27,000	20,000	27,000	27,000	25,460	27,000
決算額（令和元年度は見込み）		6,340	5,198	15,807	8,223	5,722	27,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,340	5,198	15,807	8,223	5,722	27,000
執行率（％）		23.5％	26.0％	58.5％	30.5％	22.5％	100.0％

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助可能件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		9	R7	目標	9	9	9	9
				実績	9	9	9	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		9	R7	目標	9	9	9	9
				実績	5	5	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。						

課題・問題点
多くの町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、中には早急な修繕が必要となるケースがある。その一方、会館の建設等には莫大な金額がかかり、本補助金を使用しても町会・自治会の負担は総費用の50%以上となることもある。町会・自治会によっては会館に対する基金を設けているところもあるが、予期せぬ事態が生じて資金がないためにすぐに対応できない場合もあるため、こういったケースへの対応方法についても検討していく必要がある。

補 助 金 名 称	町会・自治会会館福祉関連施設等整備補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区町会・自治会会館施設整備補助金交付要綱				地域活動推進課地域活動推進担当	
補助概要	高齢者や障がい者の利便を図るため、町会・自治会が設置する町会・自治会会館の施設整備に要する経費の一部を補助金として交付している。				03-5608-3661	
目 的	町会・自治会活動の拠点となる施設について、高齢者や障がい者でも利用しやすい環境を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。					
対 象	町会・自治会（全１７０団体）					
基 準	区独自基準					
補助条件	補助金額：費用の全額、上限50万円（交付金額については、5年間は申請不可） 交付対象会館 (1) 町会等において、自主的に管理されるものであること。 (2) 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。					
経 過	開始年度	平成4年度	終了予定			
	平成4年7月 事業開始 平成11年7月 冷暖房機の購入費も対象に追加 平成29年3月 高齢者及び障害者等の利便を図る範囲内での備品の購入費も対象に追加					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		5,000	5,000	4,952	5,000	5,000	5,000
決算額（令和元年度は見込み）		3,698	4,000	3,464	2,562	2,206	5,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		3,698	4,000	3,464	2,562	2,206	5,000
執行率（％）		74.0％	80.0％	70.0％	51.2％	44.1％	100.0％

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助可能件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	10	10	10	10
				実績	10	10	10	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	申請に対する補助事業なので、活動指標として事業規模を表す補助可能件数とした。目標値を補助可能件数としたのは事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標	10	10	10	10
				実績	8	7	6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。							
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で、今後とも継続していく。						

課題・問題点
本助成制度については、補助対象となるもの、補助対象外となるものについての区分が町会・自治会にとって分かりにくくなっている。今後、区でも要綱の内容と合わせて、周知方法等を検討し、利用者にとって活用しやすい制度にしていく必要がある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	みどりコミュニティセンター管理運営					6
目 的	地域住民の福祉の増進及び健康で文化的なコミュニティの形成と発展を図る。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域活動推進担当
						03-5608-6200
対 象 者	みどりコミュニティセンター利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区みどりコミュニティセンター条例 墨田区みどりコミュニティセンター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者：相鉄企業株式会社	
事業内容	○施設概要 集会室、会議室、和室、発生練習室、多目的ホール、スタジオ、トレーニング室等 ○施設の管理運営・維持管理 地域住民の活動の場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成7年度		終了予定		
	平成 7年6月 みどりコミュニティセンター開設 平成18年4月 指定管理者制度導入					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		109,756	104,590	50,375	133,626	49,678	49,134
決算額（令和元年度は見込み）		82,055	94,734	49,641	105,819	49,242	49,134
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	467	1,580	579	793	928	500
一般財源		81,588	93,154	49,062	105,026	48,314	48,634
執行率（％）		74.8%	90.6%	98.5%	79.2%	99.1%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	管理運営委託経費	48,219	委託料	管理運営委託経費	48,259	委託料	管理運営委託経費	48,546
工事請負費	修繕費用	56,825	工事請負費	修繕費用	0	工事請負費	修繕費用	488
需用費	物品購入等	370	需用費	物品購入等	486	需用費	物品購入等	100

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		80	令和7年度	目標	60	62.3	64.5	66.7
				実績	64.8	64.1	61	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	69	71.2	73.4	75.6	77.8	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	イベント・講座満足度4～5の方(5段階評価)の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		80	令和7年度	目標	60	62.2	64.4	66.6
				実績	59.6	41.9	50	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68.8	71	73.2	75.5	77.7	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域住民の意見や要望にあった施設運営が出来ているかどうかの確認となるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区南部における同様施設が少ないため、区民のニーズは高い。また、同様の理由より、周辺の貸出施設数が不十分のため代替の可能性は低いと想定される。地域コミュニティの場として、必要な施設である。

課題・問題点
区南部のコミュニティ施設の核として、アンケート等で集約した利用者ニーズを取り入れた事業展開を図り、利用者満足度を高めていく。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	コミュニティ会館管理運営					7
目 的	地域住民のコミュニティの形成と発展及び教養と文化の向上並びに児童の健全な育成を図る。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域稼働推進担当 03-5608-6200
対 象 者	コミュニティ会館利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区コミュニティ会館条例 墨田区コミュニティ会館条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2 指定管理者:その他特記事項参照	
事業内容	○施設概要 地域集会室、図書室、遊戯室、音楽室、学童クラブ室等 ○施設の管理運営等 コミュニティ会館3館の管理運営について指定管理者が担うとともに、図書の購入など区が実施する。					
経 過	開始年度	昭和57年度		終了予定		
	昭和57年5月 東駒形コミュニティ会館開設 昭和63年4月 梅若橋コミュニティ会館開設 平成 7年4月 横川コミュニティ会館開設 平成27年4月 横川コミュニティ会館、指定管理者制度を導入 平成28年4月 東駒形コミュニティ会館及び梅若橋コミュニティ会館館、指定管理者制度を導入					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 指定管理者: 横川コミュニティ会館:ソシオーク、テルウェル、東武ビルマネジメント共同企業体 東駒形コミュニティ会館:東駒形TRC賀川記念館グループ 梅若橋コミュニティ会館:梅若橋あすのすみだ					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		381,422	552,751	406,498	420,200	454,842	480,464
決算額（令和元年度は見込み）		366,967	503,232	400,473	416,266	442,311	480,464
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		366,967	503,232	400,473	416,266	442,311	480,464
執行率（％）		96.2%	91.0%	98.5%	99.1%	97.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	管理運営委託経費等	377,156	委託料	管理運営委託経費等	376,733	委託料	管理運営委託経費等	390,680
使用料賃借料	空調機の借上げ等	11,808	使用料賃借料	空調機の借上げ等	11,593	使用料賃借料	空調機の借上げ等	11,522
負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	4,591	負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	33,495	負担金補助交付金	有線情報システム負担金等	5,015
需用費	図書の購入等	20,518	需用費	図書の購入等	20,093	需用費	図書の購入等	20,252

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	予算執行率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		99	令和7年度	目標	99	99	99	99
				実績	98.5	99.1	97.2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	99	99	99	99	99	99
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	計画的に予算を執行し、適切に施設の維持管理を行うことが重要であるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	イベント・講座満足度4～5の方(5段階評価)の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		85	令和7年度	目標	85	85	85	85
				実績	83.3	84.1	72	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	85	85	85	85	85	85
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設利用者の満足度が高まることで、施設の維持管理が適切に行われていることが確認できるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	アンケート結果により各事業に対する利用者ニーズは高く、近隣で同様のコミュニティ施設がないため代替性はなく、引き続き地域コミュニティの活性化及び児童の健全育成に資する施設として必要である。

課題・問題点
地域コミュニティの活性化や児童の健全育成に関する施設であり、今後もその一助としての役割を担うべき施設であるが、各施設とも経年に伴う修繕を必要とする箇所があり、施設の劣化に伴い満足度も頭打ちの傾向にある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	地域集会所管理運営					8
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域活動推進担当 03-5608-6200
対 象 者	地域集会所利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区地域集会所設置条例・墨田区地域集会所の管理運営に関する条例 墨田区地域集会所の管理運営に関する条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	地域住民の健康で文化的なコミュニティの形成及び発展を図るため、地域住民の活動の場として地域集会所を設置している。 一般財団法人墨田まちづくり公社が指定管理者・業務受託者として19施設（東駒形・梅若橋・横川集会所を除く）を管理運営している。 （1）指定管理者委託（18施設） 立川・寺島・千歳・八広中央・曳舟・押上・東向島 八広一丁目・東墨田うめぞの・横川三丁目・江東橋・一寺言問 業平三丁目・立花四丁目・京島第一・京島第二・なりひら神明橋・太平四丁目 （2）業務委託（1施設） 東あずま公園集会所					
経 過	開始年度	昭和57年		終了予定		
	昭和57年4月 上記条例及び規則施行 平成18年4月 指定管理者制度導入 指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社（非公募3年） 業務委託者：一般財団法人墨田まちづくり公社（年間契約、東あずま公園集会所） 平成25年4月 八広あおぎり及び八広はなみずき集会所廃止 平成25年10月 外手集会所廃止 平成28年4月 墨田集会所廃止 平成29年4月 西あずま集会所廃止					
議会質問 の 状 況	H30四定、H31予特：貸出区分「午後」の二分割について質問あり。H31.4月から業平三丁目集会所で実施と回答した。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		67,240	54,112	32,324	35,529	121,934	68,357
決算額（令和元年度は見込み）		57,193	52,094	30,845	33,559	106,774	68,357
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		57,193	52,094	30,845	33,559	106,774	68,357
執行率（％）		85.1%	96.3%	95.4%	94.5%	87.6%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料	29,496	委託料	指定管理料	27,008	委託料	指定管理料	28,778
役務費		27	委託料	空気環境測定	312	投資的工事費	長期修繕費用	38,144
委託料	空気環境測定	27	投資的工事費	長期修繕費用	92,113	維持補修費	事後修繕費用	715
工事請負費	事後修繕費用	3,289	維持補修費	事後修繕費用	557	負担金補助及び交付金	管理負担金	720
負担金補助及び交付金	管理負担金	720	負担金補助及び交付金	管理負担金	720			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		30	令和7年度	目標	30	30	30	30
				実績	21	23	24	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	平成29年度の貸出し可能枠は約32,000枠							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	64.6	68	71	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域コミュニティ活動の拠点と考えると、満足して継続的に使ってもらうことが重要であるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	利用者の利便性と施設の稼働率を向上させるため、利用時間や利用区分の見直しを図る。 まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、管理運営体制の整理や統廃合等を検討していく。

課題・問題点
地域コミュニティ活動の拠点として利用されているが、利用件数・利用者数ともに施設の有効活用を図る必要がある。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	地区会館管理運営					9
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域活動推進担当
						03-5608-6200
対 象 者	地区会館利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区地区会館条例 墨田区地区会館条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	地域住民の福祉の増進のため、地域コミュニティ施設として地区会館を設置し、長寿室・集会室として使用している。 向島言問会館（条例設置）、京島会館、菊川分室、柳島集会室					
経 過	開始年度	S42		終了予定		
	昭和42年4月 上記条例及び規則 施行 平成18年4月 指定管理者制度導入（向島言問会館） 指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社（非公募3年） 管理業務委託者：一般財団法人墨田まちづくり公社（年間契約、京島会館・柳島集会室・菊川分室）					
議会質問 の 状 況	H31一定常任委員会報告 老朽化した向島言問会館を令和3年3月31日付で廃止し、跡地は、公共施設マネジメントの観点からあり方を検討する。					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		22,143	5,191	5,318	6,093	27,426	4,354
決算額（令和元年度は見込み）		17,416	4,490	5,044	5,908	19,658	4,354
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		17,416	4,490	5,044	5,908	19,658	4,354
執行率（％）		78.7%	86.5%	94.8%	97.0%	71.7%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料等	4,208	委託料	指定管理料等	4,055	委託料	指定管理料等	4,150
工事請負費	向島言問会館天井工事	1,420	工事請負費	長期修繕計画	15,399	負担金補助及び交付金	菊川分室管理費	204

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		17000	令和7年度	目標	17000	17000	17000	17000
				実績	16105	14502	13090	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17000	17000	17000	17000	17000	17000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	コミュニティサロン(長寿室)を中心に、区民が気軽に交流できる場を提供する。貸出し枠を設定していないため、稼働率の算出はしていない。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	65	68	71	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域コミュニティ活動の拠点と考えると、満足して継続的に使ってもらうことが重要であるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地区会館のあり方を検討する中で、施設の統廃合等を検討していく。

課題・問題点
利用者の固定化と高齢化が進んでいる。 地域コミュニティ施設として、地域住民の福祉の増進への寄与が限定的である。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	墨田まちづくり公社コミュニティ補助					10
目 的	高齢者を中心に地域コミュニティの形成に向けて、その機会を提供する。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域活動推進担当
						03-5608-6200
対 象 者	「コミュニティカレッジ」「生きがい趣味の教室」「コミュニティサロン」「コミュニティサロン利用者の集い」に参加する概ね65歳以上の区民					
根拠法令 関連計画	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	平成28年3月に閉館した旧家庭センターのコミュニティ事業を、一般財団法人墨田まちづくり公社が引き継いで実施するにあたり、その経費を補助する。 コミュニティカレッジ(旧明治青年大学)、生きがい趣味の教室(旧生きがい趣味の教室)、コミュニティサロン(旧長寿室)、コミュニティサロン利用者の集い(旧長寿芸能の集い)の各事業を実施している。					
経 過	開始年度	平成28年度		終了予定		
	コミュニティ事業実施状況	30年度	29年度	28年度		
	コミュニティカレッジ	733人(17回)	766人(17回)	776人(17回)		
	生きがい趣味の教室	2,314人(246回)	1,664人(222回)	1,812人(200回)		
	生きがい趣味の教室発表会	200人(1回)	200人(1回)	220人(1回)		
	コミュニティサロン	18,186人	21,104人	22,171人		
	コミュニティサロン利用者のつどい	400人(1回)	400人(1回)	424人(1回)		
	21,833人	24,134人	25,403人			
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）				30,100	30,219	32,146	31,390
決算額（令和元年度は見込み）				27,995	29,220	32,146	31,390
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	27,995	29,220	32,146	31,390
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	93.0%	96.7%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	29,220	負担金補助及び交付金	補助金	32,146	負担金補助及び交付金	補助金	31,390

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	コミュニティ事業参加者				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26000	令和7年度	目標	26000	26000	26000	26000
				実績	25403	24134	21833	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26000	26000	26000	26000	26000	26000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	旧家庭センターの閉館に伴い、区民から強い要望があった4事業を継続して実施している。 旧長寿室の廃止が続き、事業参加者が減少している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	コミュニティ事業参加者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	64.7	70.3	71.2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	参加者の趣味を活かし生き甲斐を高める事業のため、参加者の満足度は高いと思われる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、事業の内容や所管を、まちづくり公社と協議調整していく。

課題・問題点
旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進み、地域社会や区民等へ波及効果は限定的である。

補助金 名 称	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱				地域活動推進課地域活動推進担当	
補助概要	墨田まちづくり公社コミュニティ事業費 旧家庭センターのコミュニティ事業を、一般財団法人墨田まちづくり公社が引き継いで実施するにあたり、その経費を補助する。				03-5608-6200	
目 的	地域コミュニティの形成					
対 象	一般財団法人墨田まちづくり公社が行う地域コミュニティの形成に資する事業に要する経費					
基 準	区独自基準					
補助条件						
経 過	開始年度	平成28年度	終了予定			
	コミュニティ事業実施状況		30年度	29年度	28年度	
	コミュニティカレッジ		733人（17回）	766人（17回）	776人（17回）	
	生きがい趣味の教室		2,314人（246回）	1,664人（222回）	1,812人（200回）	
	生きがい趣味の教室発表会		200人（1回）	200人（1回）	220人（1回）	
	コミュニティサロン		18,186人	21,104人	22,171人	
	コミュニティサロン利用者のつどい		400人（1回） 21,833人	400人（1回） 24,134人	424人（1回） 25,403人	
議会質問 の状況						
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）				30,100	30,219	32,146	31,390
決算額（令和元年度は見込み）				27,995	29,220	32,146	31,390
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	27,995	29,220	32,146	31,390
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	93.0%	96.7%	100.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	コミュニティ事業参加者					単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		26000	H37 (R7)	目 標	26000	26000	26000	26000	
				実績	25403	24134	21833		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目 標	26000	26000	26000	26000	26000	26000	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		旧家庭センターの閉館に伴い、区民から強い要望があった4事業を継続して実施している。 旧長寿室の廃止が続き、事業参加者が減少している。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	コミュニティ事業参加者の満足度					単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		80	37	目 標	70	72	73	74	
				実績	64.7	70.3	71.2		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目 標	75	76	77	78	79	80	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
参加者の趣味を活かし生き甲斐を高める事業のため、参加者の満足度は高いと思われる。									
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等							
改善・見直しのうえ継続		まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、事業の内容や所管を、まちづくり公社と協議調整していく。							

課題・問題点
旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進み、地域社会や区民等へ波及効果は限定的である。

施 策	512	地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				部内優先順位
事 業 名	墨田まちづくり公社補助					11
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。					主管課・係（担当）
						地域活動推進課地域活動推進担当 03-5608-6200
対 象 者	公社所有集会所利用者、公社所有町会会館利用者					
根拠法令 関連計画	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	一般財団法人墨田まちづくり公社が、公社所有集会所の管理運営と、公社所有町会会館の維持管理を実施するにあたり、その経費について補助金を交付する。 公社所有集会所（ 2施設）： 吾妻橋会館、両国駅前会館 公社所有町会会館（11施設）： 小梅二丁目会館、向島四丁目南会館、隅田西会館、立花五丁目会館 小梅一丁目会館、緑三丁目会館、押上一丁目仲会館、亀沢一丁目会館 押上三丁目仲成会館、中川会館、東向島百花会館					
経 過	開始年度	昭和58年度		終了予定		
	公社所有集会所（ 2施設）： 吾妻橋会館（H1.12月）、両国駅前会館（S57.8月） 公社所有町会会館（11施設）： 小梅二丁目会館（S58.5月）、向島四丁目南会館（S59.9月）、隅田西会館（S60.9月） 立花五丁目会館（S63.2月）、小梅一丁目会館（H1.4月）、緑三丁目会館（H1.10月） 押上一丁目仲会館（H2.2月）、亀沢一丁目会館（H2.10月）、押上三丁目仲成会館（H2.12月）、中川会館（H3.3月）、東向島百花会館（H4.4月）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		6,188	7,331	7,065	6,883	6,733	6,734
決算額（令和元年度は見込み）		1,028	2,123	4,109	1,548	6,733	6,734
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,028	2,123	4,109	1,548	6,733	6,734
執行率（％）		16.6%	29.0%	58.2%	22.5%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	1,548	負担金補助及び交付金	補助金	6,733	負担金補助及び交付金	補助金	6,734

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	公社所有集会所の利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		27,000	令和7年度	目標	25000	25000	25000	25000
				実績	24948	25830	26361	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26000	26000	26000	27000	27000	27000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公社所有集会所は交通至便な立地に加え、地域集会所よりも低廉な料金設定となっており、更なる利用人数の増加が期待できる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	公社所有町会会館の管理実績				単位	館
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		8	令和7年度	目標	12	12	11	11
				実績	12	11	11	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	9	9	8	8
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	町会・自治会の法人化により、墨田まちづくり公社から町会・自治会に返還する。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、管理運営体制の整理を図る。

課題・問題点
公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め、自立を図る必要がある。

補助金名称	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱			地域活動推進課地域活動推進担当	
補助概要	一般財団法人墨田まちづくり公社が、公社所有集会所の管理運営と、公社所有町会会館の維持管理を実施するにあたり、その経費について補助金を交付する。			03-5608-6200	
目的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。				
対象	一般財団法人墨田まちづくり公社が行う、コミュニティ施設の取得及び管理運営（墨田区から受託したコミュニティ施設に係るものを除く。）事業に要する経費				
基準	区独自基準				
補助条件					
経過	開始年度	昭和58年度	終了予定		
	公社所有集会所（ 2 施設）： 吾妻橋会館（H1.12月）、両国駅前会館（S57.8月） 公社所有町会会館（ 1 1 施設）： 小梅二丁目会館（S58.5月）、向島四丁目南会館（S59.9月）、隅田西会館（S60.9月） 立花五丁目会館（S63.2月）、小梅一丁目会館（H1.4月）、緑三丁目会館（H1.10月） 押上一丁目仲会館（H2.2月）、亀沢一丁目会館（H2.10月）、押上三丁目仲成会館（H2.12月） 中川会館（H3.3月）、東向島百花会館（H4.4月）				
議会質問の状況					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算額（事業費）		6,188	7,331	7,065	6,883	6,733	6,734
決算額（令和元年度は見込み）		1,028	2,123	4,109	1,548	6,733	6,734
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,028	2,123	4,109	1,548	6,733	6,734
執行率（％）		16.6%	29.0%	58.2%	22.5%	100.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	公社所有集会所の利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		27,000	H37(R7)	目標	25000	25000	25000	25000
				実績	24948	25830	26361	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26000	26000	26000	27000	27000	27000
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公社所有集会所は交通至便な立地に加え、地域集会所よりも低廉な料金設定となっており、 更なる利用人数の増加が期待できる。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	公社所有町会会館の管理実績				単 位	館
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		8	H37(R7)	目標	12	12	11	11
				実績	12	11	11	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	9	9	8	8
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		町会・自治会の法人化により、墨田まちづくり公社から町会・自治会に返還する。						
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		まちづくり公社のあり方検討を踏まえ、管理運営体制の整理を図る。						

課題・問題点	
公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め、自立を図る必要がある。	